

## 香川県の雇用情勢（令和6年7月分）

- 7月の有効求人倍率（季調値） **1.43倍**（前月差 0.00ポイント）
- 正社員の有効求人倍率（原数値） **1.16倍**（前年同月差 ▲0.01ポイント）
- 雇用情勢判断 「求人が求職を上回って推移しており、緩やかに持ち直しているものの、今後も物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。」

## 1 求人倍率

- 有効求人倍率(季調値)は、前月と同水準。156か月連続で1倍台(全国第7位、全国1.24倍)
- 正社員の有効求人倍率(原数値)は、前年同月より0.01ポイント低下(全国第13位、全国0.99倍)

年月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
有効求人倍率	1.41	1.41	1.45	1.48	1.43	1.43
正社員有効求人倍率	1.17	1.13	1.11	1.14	1.15	1.16

(注) 1. 有効求人倍率(季調値)の季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。  
2. 令和5年12月以前の季節調整値は、新季節指数により改定されている。

## 2 雇用情勢判断

- 判断を据え置き

変更した月	変更した内容	判断方向
令和6年5月	求人が求職を上回って推移しており、緩やかに持ち直しているものの、今後も物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。	上方修正
令和5年10月	求人が求職を上回って推移しているものの、このところ持ち直しの動きに弱さがみられる。物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。	下方修正
令和4年9月	持ち直している	据え置き
令和4年6月	新型コロナウイルス感染症の影響を注視する必要があるものの、持ち直している	据え置き

## 3 新規求人

- 新規求人(原数値)は、8,082人(前年同月比 0.5%増) 2か月ぶりに増加  
増加した主な産業は、医療、福祉、サービス業(他に分類されないもの)、建設業等  
減少した主な産業は、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、教育、学習支援業等

年月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
前年同月比(%)	1.3	▲7.9	6.7	7.8	▲10.5	0.5

## 4 新規求職

- 新規求職(原数値)は、3,379人(前年同月比 0.2%増) 3か月ぶりに増加

年月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
前年同月比(%)	▲3.1	▲10.2	4.1	▲3.3	▲9.1	0.2

※令和3年9月以降の数値より、オンライン上で求職登録した求職者が含まれている。